



殿ダム内部を活用したワイン貯蔵の試行計画について

令和6年11月20日から、鳥取市（担当：国府町総合支所）と地元企業である株式会社兎ッ兎ワイナリーが連携し、国土交通省の協力のもと、一年を通して冷涼な環境を保つ殿ダム施設内部の監査廊（地下の管理用通路）を活用したワイン貯蔵試行計画を始めました。

【試行計画の目的】

国府町の殿ダム水源地域にあたる成器・大茅地区の自立的・持続的な活性化を目指す「殿ダム水源地域ビジョン」の行動計画の「地域活動の促進」「地域情報の発信」の一環として、

- 殿ダム内部の監査廊で貯蔵するワイン熟成の有効性
 - 地域の地名度アップによる観光客の増加や交流人口の拡大
 - 商品化による地域活性化への効果 等
- ※貯蔵に要するエネルギーの低減化によるSDGsへの貢献も期待できる。

【実施主体】

鳥取市、株式会社兎ッ兎ワイナリー



【計画概要】

期 間：令和6年11月から令和9年11月まで（3ヶ年）

貯蔵本数：7,200本（2,400／年×3年間）

評価検証：毎年、地域の代表者や各行政機関で構成される「殿ダム水源地域活性化推進連絡会」で検証予定。

【貯蔵ワイン搬入式】

日時：令和6年11月20日（水）午前9時～

場所：鳥取市国府町殿 殿ダム記念広場

